

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	病態治療論 I (脳神経・運動器系) 1 単位 30 時間		
開講時期	1 年次 前期		
担当教員	脳神経外科医師・神経内科医師 整形外科医師	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>近年の医療の動向や高齢社会、疾患の発症状況をふまえ、脳・神経疾患の概況について学ぶ。脳・神経疾患には、記憶力、判断力、遂行力、人格などが障害されてしまう疾患が非常に多い。現れる症状は多岐に渡り、治療においては生命を維持するというだけではなく QOL の維持や健康寿命の延長が非常に重要となる。脳・神経疾患は身体機能への影響が大きいいため、その疾患及び治療について理解を深める。運動器系に関しては疾病構造と医療提供体制の変化を理解し、運動器疾患を持つ患者の特徴を理解する。到達目標は脳神経・運動器系の主な疾患の病態診断・治療と回復の促進について理解することとする。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1 回目	1. 脳神経系の構造と機能 1) 神経系のなりたち 2) 症状とその病態生理 3) 中枢神経系・末梢神経系	講義 ( 脳外科医師 )	
2 回目	4) 検査・診断と治療・処置	講義 ( 脳外科医師 )	
3 回目	2. 疾患の理解 1) 脳血管障害	講義 ( 脳外科医師 )	
4 回目	2) 脳腫瘍	講義 ( 脳外科医師 )	
5 回目	3) 外傷・その他の疾患	講義 ( 脳外科医師 )	
6 回目	1. 大脳機能局所在論	講義 ( 神経内科医師 )	
7 回目	2. 疾患の理解 1) 筋疾患・神経筋接合部疾患	講義 ( 神経内科医師 )	
8 回目	2) 脳・神経系の感染症 3) 中毒 4) てんかん 5) 認知症	講義 ( 神経内科医師 )	
9 回目	1. 運動器系の疾患とその治療 ～総論～	講義 ( 整形外科医師 )	
10 回目	1) 外傷性 (外因性) の運動器疾患	講義 ( 整形外科医師 )	
11 回目	2) 治療・処置 ①保存療法 ②理学療法・作業療法 ③手術療法 ～ギプス・松葉つえの実際～	講義 ( 整形外科医師 )	
12 回目	3) 脊椎の疾患	講義 ( 整形外科医師 )	
13 回目	4) 内因性の運動器疾患 ①骨・関節の炎症性疾患	講義 ( 整形外科医師 )	
14 回目	5) 先天性疾患	講義 ( 整形外科医師 )	
15 回目	6) 骨腫瘍および軟部腫瘍 7) 手の疾患	講義 ( 整形外科医師 )	
16 回目	終了試験		
評価方法	終了試験 筆記 100% : 整形外科 (50%) 脳神経外科 (30%) 神経内科 (20%)		
受講生に対するメッセージ	3 領域の専門医師の講義によって構成されています。その合計点数をもって単位認定の判断がなされます。事前事後の学修を行って十分な理解ができるよう取り組んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院		
参考書			

